

3月 定例会 継続審査としていた「鹿角観光ふるさと館の指定管理者の指定について」議案の撤回を承認、再提出された議案については原案可決

3月定例会

主な議案等の審議内容

令和6年3月定例会を2月29日から3月22日までの23日間の日程で行い、市長より議案29件が上程され、いずれも原案のとおり可決し、議員提出議案1件について、原案のとおり可決しました。

本定例会に提案された議案等の審議結果や議会に提出された陳情の審査結果について、一覧を次ページ以降に掲載しています。

なお、本定例会において適任とされた人事案件は次のとおりです。

人事案件

人権擁護委員

木村 智子 氏（再任）
奈良 明子 氏（再任）
岩館 裕章 氏（再任）
安倍 良直 氏（再任）
戸嶋めぐみ 氏（新任）

議案の撤回（令和5年議案第86号指定管理者の指定について（鹿角観光ふるさと館））

質問 議案を撤回する理由は。

答弁 これまでの混乱について12月議会では陳謝しているが、代表取締役の解任を撤回したことから、早急に事態の収束を図る必要があると考えたものである。

指定管理者の指定について（鹿角観光ふるさと館）

質問 代表取締役の解任の撤回に至った経緯について説明も十分で、市長も納得していないように見えるが、どのように考えているのか。

答弁 今後、公社の改革を一緒に実施していく意思表明を確認できたことから、協力し進めていく。

鹿角市上水道事業会計における建設改良積立金の目的外使用について

質問 今後も積立金を企業債償還金の資金などに目的外使用することとなるか。

答弁 中長期的なシミュレーションでは、今後とも財源不足が生じると見込まれ、それらを積立金のみで解消していくことは困難であるため、使用料の改正等を行いながら収益的収入を上げるように努めていく。

令和6年度鹿角市一般会計予算

〇民生費

質問 地域包括ケアシステム構築への対応状況は。

これまで以上に医療、介護、保健、福祉等の密接な連携が必要と考えており、令和6年度からは、全世代が属性を問わない相談支援体制の構築を目指す、重層的支援体制整備事業を実施する。

〇衛生費

質問 医師確保業務委託料はこれまでにどのような成果が表れているか。

答弁 医師の人材派遣事業は、令和4年度で紹介1件、令和5年度で紹介4件があったが、いずれも成約には至っていない。

〇農林水産業費

質問 種苗交換会の開催に合わせて、市内における消費拡大を図るための方策は。

答弁 開催には、広大な敷地が必要となるため、アルパス周辺を考えている。種苗交換会のみを目的として本市を訪れる方が多いことから、商工会とも連携し、会場周辺に物産コーナーなどを設け対応したい。

議会へ提出された陳情

令和6年3月定例会では、陳情5件を審査しました。審査結果については、4ページに掲載しています。